

令和7年(2025年)4月25日

保護者の皆様

札幌市立白石中学校

校長 小川 厚志

5月1日「開校記念日」のお知らせ

春の暖かさが感じられる頃となりましたが、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素から本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。

さて、5月1日(木)は、本校の開校記念日です。歴史を重ねて、今年で開校して79年を迎えます。これもひとえに保護者の皆様をはじめ地域の皆様方の深いご理解とご協力の賜と感謝申し上げます。

この日は休業日となります。特別な行事はもちませんが、開校当時の苦労を思い起こすとともに、明日からの生徒たちの活躍と本校の発展を祈念する節目の日になることを願っております。



昭和23年頃の白石中学校

開校は昭和22年、開校時の生徒数は144名。白石村の柏山にできた新校舎(体育館はない)。昭和25年に白石村が札幌市に合併して、札幌市立白石中学校となった。



現在の白石中学校

今年度で開校79周年を迎える。昭和30年10月に現在の場所に新校舎の一部ができ、昭和32年10月に木造モルタル二階建ての校舎が完成した。現在の校舎は昭和57年3月に完成。

◇ 校章の由来 ◇



本校生徒の魂と誇りを示す校章は、白中の文字を中心に、柏の葉六枚をもって構成されています。明治初年、白石藩士がこの地に開拓の鋤をおろした当時は柏の大樹が鬱蒼と生い茂り、昼なお暗い原始そのままの樹海であり、その大地は撓まざる努力によって開墾され、今日の白石が築きあげられました。

校章はこの尊い開拓の精神を柏葉によって象徴したものです。なお、開校当時、校下の通学区は、中央、本通、南郷、北郷、大谷地、横町の六地区でした。これを柏の六葉で表し、さらに「白中」の文字を包む円は、地区の住民全体の団結と協和を表現したもので、昭和22年(1947年)7月に制定されました。

校歌

藤 藤
健 祐
伸 輔

一、さ霧晴れゆく原始林
大地の力 静かにて
清風まどにささやけば
学ぶ我等に湧く力

二、手稲連峯 雲高く
稔り豊かな白石の
学びの園に咲く花も
文化の香りいや高し

三、仰ぐ校旗の緑濃く
柏葉さんと輝きて
校風ながく薫るかな
理想は高し我が学園

(編)